

アークフラッシュ施工された老人施設からは6年間インフルエンザの発症が報告されておりません。

<<通販開始>> <http://homepage2.nifty.com/arc-clean/>

<<インフルエンザ対策>>

インフルエンザ対策として学校法人の中萬学院がアークフラッシュ施工をする事になりました。老人ホームなどの6年間に及ぶ実績が認められた結果でした。

抗ウイルス薬アマンタジンが効きにくい耐性のA香港型インフルエンザウイルス(H3N2型)が、日本国内で急増の兆しがあることが、鈴木宏新潟大教授(公衆衛生学)の調査で分かった。米テキサス州ガルベソンで25日まで開かれた日米医学協力計画専門家会合で、同教授が明らかにした。

耐性ができるのは薬剤の使いすぎが一因とされるが、日米ともアマンタジンは治療の主流ではなく拡大の原因は不明。国立感染症研究所(東京)も調査を検討している。

鈴木教授らが昨年9-12月に長崎県の患者8人から分離されたH3N2型ウイルスを調べたところ、すべてアマンタジン耐性だった。数は少ないが「通常では考えられない高発生率。他県にも広がっている可能性が高い」と同教授は話す。

インフルエンザとみられる集団発生があり、3小中学校で休校・学年閉鎖の措置をとったと発表した。今シーズンに入って計13校となった。

南大隅町立大泊小が24日午後~26日にかけて休校となったほか、日置市立土橋中1・2年と霧島市立中福良小1~4年が24日に学年閉鎖となった。いずれも38度以上の高熱や頭痛、筋肉痛などの症状が出た。

中国衛生省は25日、四川省成都市で高病原性鳥インフルエンザ(H5N1型)に感染した女性(29)が死亡したことを明らかにした。新華社が同日報じた。中国での鳥インフルエンザによる死者は7人目。

家禽(かきん)への感染は計13の省と自治区に広がっており、感染拡大に対する懸念が強まっている。衛生当局は感染拡大阻止に向け、死亡した女性の感染経路の調査と、生前に接触した人に対する検査を急ぐ。

衛生省によると、女性は今月12日に発熱と肺炎の症状を起こし、H5N1型ウイルスを検出。同省は23日に感染の事実を公表、女性の容体は悪化していると説明していた。死亡日時は明らかにしていない。

金総書記 訪中時、支援要請へ！！

北朝鮮の平壤市内で昨年十二月、鳥インフルエンザが流行し、人にも感染していたことが二十四日、分かった。政府筋が明らかにした。農村部でも昨年九月ごろから発生していたとみられており、深刻な事態に陥っている可能性がある。金正日総書記は抑制・防止策の徹底を指示し、先に極秘で中国を訪問した際、支援と協力を求めたとの見方が強い。

平壤市内では昨年末、万景台区域八骨洞 大城区域龍南山周辺 光復街の計三カ所で、ニワトリなどが鳥インフルエンザに感染。軍などが出動し、ニワトリの処分や消毒に追われたという。

この時期に少なくとも女性一人が感染し、平壤市内の赤十字病院に入院した。トリから人への感染とみられ、ウイルス変異による人から人への感染は確認されていないという。感染者がどの程度にのぼっているかは不明だ。

こうした事態を受け、金総書記は今月、自らの名前で朝鮮労働党、政府の関係各機関に、鳥インフルエンザの抑制・防止の徹底を指示した。首都平壤での発生を深刻に受け止めているとみられる。

金総書記は十日から九日間にわたり、極秘に訪中した際、北京市内の幹部用病院「人民解放軍三〇一病院」で検査を受けたとの情報もあり、鳥インフルエンザの感染検査だった可能性も指摘されている。北京での胡錦濤国家主席との会談では、鳥インフルエンザ対策が議題に取り上げられたとされ、中国側に支援と協力を求めたとみられる。北京では十七日から、鳥インフルエンザ対策を協議する国際会議が開かれ、計十九億ドルの資金確保などを決定してもいる。

北朝鮮国内では、農村部などで昨年秋ごろから鳥インフルエンザが発生していたとみられている。公安当局によると、在日本朝鮮人総連合会(朝鮮総連)傘下の在日本朝鮮人科学技術協会(科協)幹部が昨年九月、鳥インフルエンザに効果のある抗ウイルス薬「タミフル」を、アタッシュケース十個分、北朝鮮に持ち込んだという。

北朝鮮の人権問題などを告発してきた非政府組織(NGO)「救え！北朝鮮の民衆／緊急行動ネットワーク(RENK)」の代表、李英和関西大教授は、「こちらでも同様の情報を確認している。国内の経済・食糧危機がさらに深刻化する可能性が高いだけでなく、周辺地域への被害拡大の危険性もある。北朝鮮政府は即刻情報を開示し、抜本的な対策を講じるべきだ」と話している。

来日中の米国際開発局(USAID)のヒル局長補は24日、記者団に対し、鳥インフルエンザについて、「以前より人間が感染しやすくなった兆しがあり、ウイルスが人間同士で感染する型に変異し始めている可能性もある」と警告

<< 施工情報 >>

東京御徒町駅前十仁ビル



地下2階地上8階の全館をアークフラッシュで加工されました。

<< お知らせ >>

弊社役員でありました松岡宏一郎が退職後に関わった事項には株式会社アークフラッシュ本部は一切関わりはございません。

弊社役員の次期に関係した契約、等ございましたらご一報をお願いいたします。

又、光触媒の工事などの情報を基にもろもろの話が有りましても弊社は一切関係が無いので、宜しくをお願いいたします。

* 発行責任者: 株式会社アークフラッシュ本部

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 honbu@arc-flash.com

1号～34号までを配信希望の方はメールにて申してください。